

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ JRRN 会員寄稿記事	5
➤ 「リバフロサポートセンター」からのお知らせ	7
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ	8
➤ 会議・イベント案内 & 冊子等の紹介	9

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

JRRN ニュースメール配信終了のお知らせ

2006年12月18日より配信を開始しました「JRRN ニュースメール」も、2023年8月7日(月)の配信をもちまして遂に1000号に到達しました。

この間、SNS など情報発信手段も大きく変わり、川づくりに関わる情報獲得方法も多様化しております。また個人情報の厳正な取り扱いが求められる中で、メールサーバーのセキュリティ強化対策により会員登録いただいている方々にニュースメールの一斉配信ができない状態が長く続いておりました。

JRRN では、こうした情報発信環境の変化を勘案し、今後は限られた運営リソースを、水辺の「小さな自然再生」をはじめとするフィールドに根差した双方向の協働活動や国際活動により集中させていくこととし、第1000号をもちましてJRRN ニュースメールの配信を終了させていただくこととなりました。約16年半に渡りご通読頂きまして誠にありがとうございました。

今後は、JRRN の facebook や Instagram で川づくりに関わるホットな話題や素敵な写真を発信してまいります。

■ JRRN の facebook:

<https://www.facebook.com/JapanRRN>

■ JRRN の Instagram :

<https://www.instagram.com/jrrn01/>

なお、全1000号のバックナンバーはJRRN ウェブサイトの以下のページでご覧いただくことができます。

■ 全 JRRN ニュースメールのバックナンバー

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/newsmail/>

 **ニュースメール (週刊)**

[< 記事のページ >](#)

JRRNニュースメール第1000号【最終号】

JRRNニュースメール第1000号(令和5年8月7日)【最終号】

※本ニュースメールは第1000号をもちまして配信終了とさせていただきます。約16年半に渡りご通読頂きまして誠にありがとうございました。今後はfacebookをご覧ください。 <https://www.facebook.com/JapanRRN>

JRRN会員各位

—◇最新号メニュー◇—< 今週の新着情報(New!)をチェック! >—

【1】(New!)最新報道記事(2023年7月24日-8月6日の14日分)

【2】JRRN事務局からのご案内
-(New!) JRRNニュースメール配信終了のお知らせ

【3】JRRN会員からのご案内
-(New!)「第1回三次元データを活用した川づくりデザインコンペ」作品募集中
-(New!)「スイスと日本の河川再生に関わる国際シンポジウム(10/10)」開催案内

【4】「小さな自然再生」研究会からのご案内
-(New!) 今年度「小さな自然再生」現地研修会の開催案内(全6回)

【5】「リバフロサポートセンター」からのご案内
-(New!)第10回「大河川Q & A連続セミナー」講演動画の配信開始
-「河川環境管理シートを用いた環境評価の手引き」発刊案内(2023.7)

【6】ARRN及び海外関係者からのご案内
- ECRR(欧州河川再生センター)eNEWS最新号(2023年7月号)案内

【7】今後開催される国内外イベント情報

【8】新着図書・雑誌記事

【9】技術指針・手引き・事例集・行政ニュース等

◆【1】(New!)最新報道記事(2023年7月24日-8月6日の14日分)

JRRN ニュースメール 第1000号 (2023年8月7日配信)

(JRRN 事務局・和田彰)

JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及促進プロジェクト – 今年度の「小さな自然再生」現地研修会の開催予告

第 18 回 「小さな自然再生」現地研修会

参加受付中



- ◆開催時期： 2023年9月24日(日)
- ◆場所： 岡山県和気町・吉井川流域日笠川
- ◆共催： わけっこパーク、「小さな自然再生」研究会
日笠川を囲み「小さな自然再生」の手法や歴史を専門家や地元の方達から学び、子どもも大人も行政も、川に関わる全ての方が実践できることを模索します。 ⇒ [次ページの参加者募集チラシ参照](#)

第 xx 回 「小さな自然再生」現地研修会

企画調整中



- ◆開催時期： 2023年 秋頃開催予定
- ◆場所： 滋賀県&福井県・北川流域
- ◆共催： 現在調整中
サクラマスの復活を夢見て、県境をまたぐ上下流の地域の協働により始まった「北川サクラマス越境プロジェクト(仮称)」。サクラマス復活に向けた課題を共有し、第一歩としてヤマメの棲みやすい環境づくりを実践します。

第 xx 回 「小さな自然再生」現地研修会

企画調整中



- ◆開催時期： 2023年10月15日(日)
- ◆場所： 滋賀県長浜市・米川
- ◆共催： 米川よらず会議 他 現在調整中
地域の老若および多くの来街者にとってとても身近な水辺である米川をフィールドに、米川とまちを行ったり来たりしながらウォークアブルな米川の未来(自然・かわまちづくり・流域治水)について考え実践します。

第 xx 回 「小さな自然再生」現地研修会

企画調整中



- ◆開催時期： 2023年10月20日
- ◆場所： 兵庫県豊岡市・円山川流域出石川
- ◆共催： いつなっと、高橋振興対策協議会 他 現在調整中
集落の真ん中を流れる出石川。かつての地域と川の深いつながりを取り戻すため、小さな自然再生で楽しくエコアップできる知識と技を学びながら、出石川のできることを参加者で考え見試します。

第 xx 回 「小さな自然再生」現地研修会

企画調整中



- ◆開催時期： 2023年11月3日(金) or 4日(土)
- ◆場所： 新潟県魚沼市・只見川
- ◆共催： 奥只見の魚を育てる会 他 現在調整中
イワナがたくさん生息し産卵する自然環境を地元の方で再生することを目標に、イワナの生態や小さな自然再生の技術を学び、パーブ工によりイワナのための淵づくりに挑戦します。

第 xx 回 「小さな自然再生」現地研修会

企画調整中



- ◆開催時期： 2023年 秋頃開催予定
- ◆場所： 滋賀県東近江市・愛知川流域の水路
- ◆共催： 現在調整中
自然環境や生物についての知見を深めながら、農業排水路におけるエコアップに向けてできる小さな自然再生の取組・技術を、民間企業のプロジェクトメンバーと参加者とともに学び合います。

第18回 岡山県和気町・吉井川流域日笠川

参加者
募集

「小さな自然再生」現地研修会

～100年後も生きものいっぱい！！日笠川～

開催日

令和5年 9月24日(日)

【開催趣旨】 私たちの生活を支えてくれる川や山。時代とともに日笠川もどんどん変容しています。流域治水をはじめ、川本来の力を取り戻し、多種多様な生きものと共生するために、ひとりひとりができることは何でしょうか。日笠川を囲み「小さな自然再生」の手法や歴史を専門家や地元の先達から学び、子どもも大人も行政も、川に関わる全ての人実践できることを模索します。それぞれが思い描く地元の川の形を再発見できる場をつくりましょう。

開催日時 令和5年9月24日(日) 9:00～16:00

会場 岡山県和気町 <座学：日笠地区公民館 / 現地：日笠川(座学会場前)>

対象 小さな自然再生に関心のある方々

定員 30名程度(先着順)

参加費 無料

持ち物 川の中で滑らない靴(アクアシューズ、鮎たび等)、作業用手袋、昼食

プログラム ※プログラム及び講演タイトルは一部変更の可能性もあります。
※主催者側で行事保険に加入いたします。

※参加申込方法、会場へのアクセス、
問合せは裏面をご覧ください。

(9:00～10:00) **小さな自然再生のウォーミングアップ座学研修** @日笠地区公民館

- 開会挨拶
- 日笠川の自然環境(白尾豪宏：公益財団法人リバーフロント研究所)
- 小さな自然再生でできること(瀧健太郎・三橋弘宗・和田彰：「小さな自然再生」研究会)

(10:00-13:00) **小さな自然再生の実践** @座学会場前の日笠川

- 日笠川で持続的に取り組むことができる小さな自然再生のノウハウを楽しみながら見直し & 日笠川の生きもの観察
- 現地指導講師：瀧健太郎(滋賀県立大学環境科学部)、三橋弘宗(兵庫県立 人と自然の博物館)

(13:00～14:00) 昼食

(14:00～16:00) **日笠川の未来を考える座学研修** @日笠地区公民館

- 地元の先達より日笠川の昔のお話を伺いながら、日笠川の未来について参加者とともに語り合います。

(16:00) 閉会



公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

主催：わけっこパーク、「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク

後援：和気町、和気町教育委員会

協力：滋賀県立大学環境科学部・瀧研究室、公益財団法人リバーフロント研究所

会場のご案内

研修会場 日笠地区公民館

※研修会場へはお車で越して下さい。

〒709-0402 岡山県和気郡和気町日笠上86-1



日笠地区公民館



※右の地図は古い情報です。
日笠地区公民館へは、新しい
道路が繋がっております。

申し込み方法

※和気町内にお住まいの方は、「わけっこパーク」facebookページ内の案内チラシを通じてお申し込み下さい。
<https://www.facebook.com/wakekkopark>

必要事項（氏名・所属・連絡先等）を明記の上、E-mailでお申し込み下さい。

申込〆切日：令和5年9月19日（火） 17:00

E-mail： info@a-rr.net

項目	記入欄
(ふりがな) 氏名	
所属	
連絡先	〒
	住所：
	電話：
	Email：

※記入された個人情報は、厳重に管理した上で、JRRNが主催する行事等のご案内に利用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。

【お問合せ】 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 (担当：和田彰・白尾豪宏)



〒104-0033 東京都中央区新川1-17-24 NMF茅場町ビル7階 (公財) リバーフロント研究所内
Tel: 03-6228-3861 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

Website: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

8月



あの日のあの川 リレー日記 ～第 69 話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第 69 話主人公 丸山達也

(筑波大学大学院 システム情報学研究科 構造エネルギー工学専攻 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：沖縄県源河川)

「黒南風」

いつのこと？：小学生高学年

どの川？：沖縄県源河川

玉置さんからバトンを受け取りました。白川研究室の丸山と申します。今回は私が幼少期よく川遊びをしていた川についてお話しさせていただきます。

私の地元で流れている「源河川」とは沖縄県名護市を流れる二級河川であり、方言では“じんかがー”などと呼ばれています。生物はアオボラヨシノボリ、ナゴノゴリ、アヤヨシノボリ、台湾キンギョ、タウナギ、リュウキュウアユなどが生息しています。私の幼少期源河川には家族や親戚とキャンプに行ったり、川遊びをしたり、釣りをしに行ったりしていました。当時この川はなんとと言っても飛び込みがとても有名で、小学生から大人まで飛び込みをして遊んでいました。特に面白かったのが、気にかかったツル（ロープ？）のようなものにぶら下がり女装をつけながらターザンのように飛び込んで楽しんでいたので鮮明に覚えています。

とても楽しい思い出ばかりの川ですが一度この川で迷子になったことがありました。その時は普段遊んでいる場所よりも上流で遊んでおり、流れが早くて地形も大きい場所でした。普段遊んでいる場所に飽きてしまった私は一人で川をのぼり、夢中でそこに住む魚や植物に見入っていました。

しかし気づいた時にはあたりは暗くなり始めており川の水温も低下していました。来た時の友好的な情景から一変し、私を飲み込んでしまうような自然の猛威を感じ、急いで元の場所に帰ろうとしましたがいくら川を下っても元の場所につきそうにありませんでした。実はこの時私ははっきり川を登っていたと思いこんでいましたが、実際は元の場所から下っており逆方向に進んでいました。

いくら進んでも辿り着く様子がなく、気持ちが切れその場でうずくまっていたところを、しばらくして私の兄が私を発見し助けられました。帰りに両親にこっぴどく叱られ、それ以来川や海では視界を広げ安全第一で行動するようになりました。

まだまだ夏が続き、海や川に遊ぶ機会があると思いますが、楽しい思い出になるのか一生後悔する思い出になるのかは自分の行動次第です。何よりも安全第一に行動できるように心がけて楽しみましょう。

(次は仙北周平さんにバトンを託します)

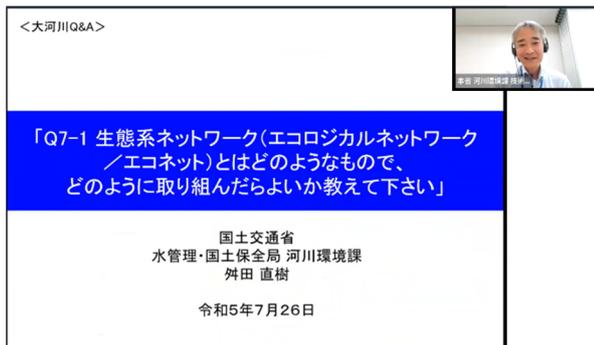
「リバフロサポートセンター」からのお知らせ RiverFront Support Center

※「リバフロサポートセンター」は、公益財団法人リバーフロント研究所が強みとするテーマの情報、技術、研究成果、また川づくりの楽しさややりがい等を社会に発信し、水辺とまちのパートナーとして各地域の担い手を支援します。JRRN はリバフロサポートセンターと二人三脚で川づくり・まちづくり・流域づくりの推進に取り組んでおります。

「大河川における多自然川づくり～Q&A形式で理解を深める～」 第10回目のウェブセミナーを開催しました！ 次回は9月下旬頃、開催予定です！

「多自然川づくりサポート」事務局（担当：渡邊祐介）

■第10回 大河川における多自然川づくりウェブセミナー



「第10回 大河川における多自然川づくりウェブセミナー」を令和5年7月26日（水）に開催しました。

第10回目は、「生態系ネットワークの構築とその評価について」に関して、「Q7-1 生態系ネットワーク（エコロジカルネットワーク／エコネット）とはどのようなもので、どのように取り組んだらよいか教えてください」と題して国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課の舛田技術調整官より、「Q7-2 河川事業における生態系ネットワーク構築の評価の考え方について教えてください」と題してリバーフロント研究所の内藤研究員よりご紹介頂きました。

参加申込者は、おおよそ行政関係者が約3割、コンサルタント関係者が約6割で全体の約9割を占めており、合計で449名の方々に参加申込いただきました。参加者の皆様ありがとうございました。

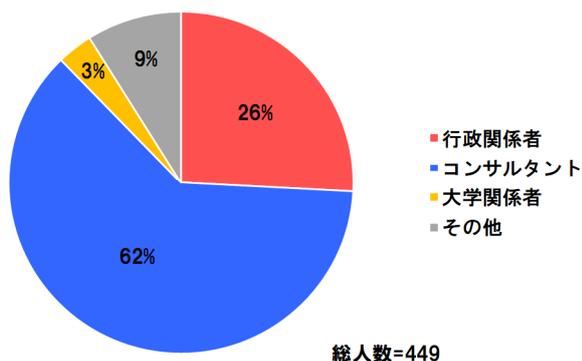


図 参加申込者の職種分類

＜第10回 ウェブセミナー開催概要＞

- 開催日時：令和5年7月26日 16:00～17:10
- 開催形式：ZOOM ウェビナー
(事前申込制、参加費無料)
- タイトル：「生態系ネットワークの構築とその評価について」
- プログラム：
 - ① Q7-1 生態系ネットワーク（エコロジカルネットワーク／エコネット）とはどのようなもので、どのように取り組んだらよいか教えてください
講演者：国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 技術調整官 舛田 直樹
 - ② Q7-2 河川事業における生態系ネットワーク構築の評価の考え方について教えてください
講演者：公益財団法人 リバーフロント研究所 研究員 内藤 太輔
 - ③ 意見交換
- CPD：1.2単位（土木学会認定）

■次回開催予定、過去の講演動画の紹介

次回は9月下旬開催予定で調整中です。

また、過去の講演動画はリバーフロント研究所 HP にて公開中です。

次回開催案内、過去の講演動画等の詳細は以下のURLをご覧ください。

<http://www.rfc.or.jp/daikasen.html>

■大河川における多自然川づくり-Q&A形式で理解を深める

本書では、大河川における多自然川づくりを実践するため、現場で直面する課題を Question とし、これに Answer とし、答える形式で、これまで日本が蓄積してきた知見が分かり易く紹介されています。

※本 Q&A のダウンロードはこちらから

https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kankyo/tashizen/qa.html

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ (2023年7月末まで提供分) Information from member

【JRRN 会員からの提供情報】

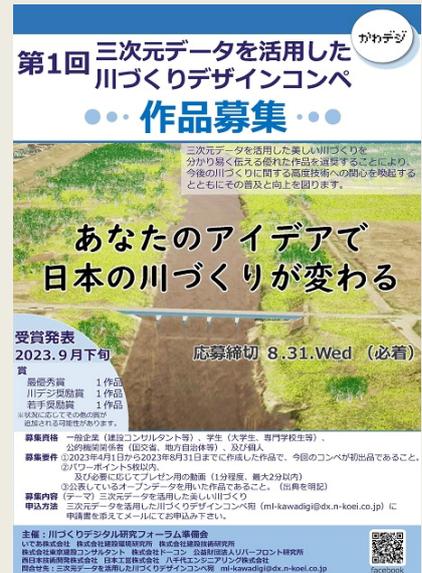
■「第1回三次元データを活用した川づくりデザインコンペ」作品募集中 (8/31 応募〆切)

「川づくりデジタル研究フォーラム準備会」より川づくりデザインコンペのご案内です。三次元データを活用した美しい川づくりの技術を広めるため、デザインコンペを開催します。

- 募集期間： 2023年8月31日(水)まで【必着】
- 募集資格： 一般企業(建設コンサルタント等)、学生(大学生、専門学校生等)、公的機関関係者(国交省、地方自治体等)、及び個人。
- 募集要件：

- (1) 2023年4月1日から2023年8月31日までに作成した作品で、今回のコンペが初出品であること。
 - (2) 作品の応募形式は、パワーポイント5枚以内、及び必要に応じてプレゼン用の動画
 - (3) 公表しているオープンデータを用いた作品であること。
- 応募方法等の詳細は以下のページをご覧ください。

◆詳細は右記ページ参照 <http://jp.a-rr.net/jp/news/member/4219.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■第31回リバーフロント研究所研究発表会 (10/4開催)

第31回「リバーフロント研究所研究発表会」を令和5年10月4日(水)13:00よりで開催いたします。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

- 日時：2023年10月4日(水)13:00~17:40
 - 場所：月島社会教育会館(東京都中央区)
 - 参加費：無料
- ◆詳細は以下参照 <http://jp.a-rr.net/jp/news/member/4228.html>

第31回 リバーフロント研究所研究発表会 プログラム	
日 時	令和5年10月4日(水) 13:00(開場)-17:40(閉会)
とこ	月島社会教育会館 4階大会場 東京都中央区月島4丁目1番1号(月島駅徒歩1分)
報告の挨拶	代表挨拶 挨拶 15:00-15:05
最近の河川環境行政の動向	15:10-15:40
最新研究発表	15:45-16:45
研究発表	16:50-17:35
閉会の挨拶	17:35-17:40

【JRRN 会員からの提供情報】

■スイスと日本の河川再生国際シンポジウム (10/10開催)



応用生態工学会からの国際シンポジウムのご案内です。

- 日時：2023年10月10日(水)13:00~17:00
 - 場所：東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区)
 - 参加費：無料
- ◆詳細は以下参照 <http://jp.a-rr.net/jp/news/member/4223.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■アユ漁体験と魚釣り in 都幾川・高麗川・越辺川 (8-9月開催)

NPO 法人荒川流域ネットワークより、今年の都幾川、高麗川、越辺川をフィールドとしたアユ漁体験と魚釣りイベントのご案内です。

- 日時：2023年8月~9月
- 場所：荒川流域
- 主催：NPO 荒川流域ネットワーク
- 協力：武蔵漁業協同組合／埼玉西部漁業協同組合
- 参加費：1000円

◆詳細は以下参照 <http://jp.a-rr.net/jp/news/member/4205.html>



【海外からの提供情報】

■「ECRR (欧州河川再生センター) eNEWS 最新号」紹介

ECRR (欧州河川再生センター) の eNEWS 最新号(2023年7月号)が事務局より届きました。

本号では、欧州での Open Rivers Programme の紹介、また河川再生に関わるセミナーや書籍、開催済セミナーの講演動画等が紹介されています。【言語：英語】。

◆詳細は以下参照 <http://jp.a-rr.net/jp/news/member/4216.html>



<http://www.ecrr.org> ECRR eNews #31 | 17 July, 2023

Content

- Introduction
- Open Rivers Programme looking for projects with exceptional ecological potential
- REMOVE AND RESTORE 2 SEMINAR FINLAND
- River Continuity Restoration Policies Review Publication
- Recorded River Continuity Restoration Policies Review webinar 27.06.2023
- Scientific Advances in River Restoration Conference
- FREE FLOW Conference 2024

会議・イベント案内 (2023年8月以降) *Event Information*

(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

■ 第17回 仁淀川の森と水を考えるシンポジウム

○日時：2023年8月26日(土) 13:50~16:30

○主催：仁淀川漁業協同組合

○場所：佐川町立「桜座」(高知県佐川町)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3451.html>

■ 応用生態工学会第26回京都大会公開シンポジウム

○日時：2023年9月22日(金) 13:00~17:00

○主催：応用生態工学会

○場所：京都大学宇治キャンパス きはだホール(京都府宇治市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3445.html>

■ 第31回リバーフロント研究所研究発表会

○日時：2023年10月4日(水) 13:00~17:40

○主催：公益財団法人リバーフロント研究所

○場所：月島社会教育会館(東京都中央区)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/4228.html>

■ 第31回全国川サミット in 守山・琵琶湖

○日時：2023年10月20日(金)・21日(土)・22日(日)

○主催：全国川サミット連絡協議会、守山市

○場所：守山市民ホール 他(滋賀県守山市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/4168.html>冊子等の紹介 *Publications*

❖ できることから始めよう 水辺の小さな自然再生事例集 第2集



市民が河川や水路の管理者と連携して日曜大工的に取り組む「小さな自然再生」の事例集の続編(第2集)の印刷製本版を普及中です。

本事例集は、水辺の小さな自然再生に取り組む全国の担い手の皆さまに、活動の経緯や目的、実施体制、工法の説明や工夫した点、使用材料や工具、施工後の維持管理や利活用の工夫、活動の効果やキーパーソンなどを執筆頂いたものです。

- 編集：「小さな自然再生」研究会
- 発行：日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
- 発行年月：2020年3月

❖ 送付申込→ <http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1149.html>

本事例集の印刷製本版の送付をご希望の方は、送料(250円)のみご負担頂いた上で、2冊を上限に無料でご提供致します。

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

(事務局長：土屋信行、事務局員：阿部充・北澤史・後藤千佳子・白尾豪宏・和田彰)

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階 (公財) リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3861 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.netURL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>